授業科目	言語発達学				
担 当 者	川畑武義				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

・ヒトはどのようにして、ことばを獲得していくのか。主な言語発達理論と、言語発達を支える基盤について学んだ上で、子どもがことばを話し始めるまでの道筋を理解していく。
・幼児期から学童期の各発達段階における語彙・構文・会話・読み書き能力を含む言語発達の様相について学ぶ。

■ 到 達 目 標

・ことばが出るまでの成り立ちを理解し、説明できる。
・幼児期から学童期の言語発達の様相および言語獲得過程について基礎知識を習得する。

■ 授 業 計 画

第１回　言語発達理論
第２回　言語発達を支える発達的基盤
第３回　前言語期の発達（1）
第４回　前言語期の発達（2）
第５回　象徴機能の発達
第６回　語彙の獲得
第７回　語彙獲得を説明する理論
第８回　まとめ、象徴機能の発達評価
第９回　幼児期の言語発達　語彙・構文の発達①
第10回　幼児期の言語発達　語彙・構文の発達②
第11回　幼児期の言語発達　語彙・構文の発達③
第12回　会話能力の発達
第13回　読み書きの発達
第14回　子どもの「見る」「聞く」の発達
第15回　まとめ　前言語期～読み書きの発達

■ 評 価 方 法

筆記試験100％
授業への取り組みも考慮する（理由のない欠席－4点、理由のない遅刻 / 早退 -2点、居眠り -1点）。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義内にて適宜、各自で取り組んでもらう課題を出す予定です。講義内にグループでの活動を適宜行う予定である。

■ 教　科　書

書　名：標準言語聴覚障害学　言語発達障害学　第３版
著者名：藤田郁代　監修
出版社：医学書院

■ 参 考 図 書

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。